

十小地域づくりの会のお知らせ

同じ地域に住む住人同士、お互いを知り合い、地域のことについて話し合う場をつくろう、と清瀬市と清瀬市社会福祉協議会が共催で「十小地域づくりの会」を実施しています。

平成29年8月28日(月)に行われた第15回の会では、地域住民の方、保護者の方、学校職員、民生児童委員、ボランティア従事者、福祉関係者などと一緒に話し合いをしました。

十小地域盆踊り大会について振り返る

十小地域盆踊り大会に参加した際の感想や見つけた課題を話して頂き、全体で共有しました。

◆良かった点

- ・地域づくりの会に出したシールはよかった。子どもにもわかりやすい。
- ・いろいろな方に地域づくりの会のPRチラシを直接渡すことができた。
- ・卒業した子ども達同士の交流ができた。
- ・初めて参加した人も含め、多くの人に参加し、つながりができた。 など・・・

◆課題点

- ・盆踊りの輪に子どもたちが一緒に参加できるような工夫があれば・・・
- ・「ささえあおう! ひまわり105」のイメージが現在開催されている「ひまわりフェスティバル」のと重なってしまう。もっと「十小地域」ということを強調していくとよいのでは。 など・・・



住民主体の組織づくりを進めていくためには?

これまで取り組んできたような活動を継続していくための組織づくりについて、意見交換しました。

人を惹きつける事業がある。

共通のテーマで集まる(防災、災害時の対応など)。

リーダー・人員の確保(特に男性)。

何をする、したい組織なのか明確にする。

見守りなど定期的に活動を行い、無理なく参加できるように分担できる。などなど

住民主体の組織をつくっていくためには、地域に住む人が集まり、地域にある既存の組織とも連携して、自分たちの地域特性にあった活動を行うことが望ましいのでは、といった今後の組織像について話し合う時間になりました。

他の地域への視察

他の地域では「住民主体の核となる組織」をどのようにして推進していったのかを知る機会として、希望者と一緒に、活動が推進されている地域への視察を予定しています。視察候補先は以下の通りです。

- ①三小円卓：月1回集まり、地域のイベントへの協力など既存団体と連携した取組みや地域課題や情報共有など行っている。
- ②八小地区：「ふわっと@地域交流の場」として学校の一室を拠点に、保護者会・学校等と連携した取組みを行っている。6月には「避難所を知ろう～八小地域フェア～」を開催した。
- ③鶴ヶ島市地域ささえあい協議会(埼玉)：拠点を中心として、防災や様々な活動を展開している。
- ④滝山団地ダイニングカフェ滝山(東久留米市)：常設サロンでのつながりづくりを行っている。

次回は、視察内容を共有しながら、住民主体の組織づくりについて話し合いを進めていく予定です。十小地域ではどういう取組みができるのか、一緒に考えていきましょう。

話し合いのサイクル

参加者同士の情報交換や地域を知る

地域の課題や現状について話し合う

課題解決に向けた具体的取組み

活動の継続

世話会発足の

**次回開催は9月28日(木) 13:15～ 清瀬第十小学校 2階けやきにて
どなたでも参加できます! ぜひおいでください!**